

『線維化性過敏性肺炎の診断における
気管支肺胞洗浄の再施行の有用性の後方視的研究』に関する
患者様、ご家族の皆様方へ

当院では、『線維化性過敏性肺炎の診断における気管支肺胞洗浄の再施行の有用性の後方視的研究』という研究を行っています。線維化性過敏性肺炎の診断における気管支肺胞洗浄の再施行の有用性を検討することは、今後の同様の患者様の管理、治療を考える際に有用と考えています。

<調査の対象となる患者さま>

対象：2015年1月から2021年12月末日までに当院で診断した線維化性過敏性肺炎のうち気管支鏡肺胞洗浄の再施行が診断に有用と思われた患者様。

<調査方法>

患者様のカルテ等の記録をもとに調査いたします。本調査では、患者様に新たなご負担をおかけすることはありません。

<患者さまのプライバシーに関して>

プライバシー・個人情報は厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることは決してありません。

<試料、情報利用の拒否について>

この研究の対象として試料、情報の利用をお断りになりたい方（ご本人ないし代諾者）はご連絡ください。研究結果が学会や学術雑誌で発表された後のご連絡には対応できません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究事務局までお問い合わせ下さい。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180

国立病院機構近畿中央呼吸器センター

内科

茂田 光弘

TEL: 072-252-3021, FAX: 072-251-2153

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床研究審査委員会（IRB）における厳重な審査・承認を受けて実施しています。